



I.B.MUSEUM SaaS リニューアル情報 EXPRESSIONS

発行元:早稲田システム開発株式会社 東京都新宿区高田馬場4-40-17 tel.03-6457-8585

✉ mapps@waseda.co.jp 🏠 www.waseda.co.jp/

Vol.13 2023.3.15 今回のテーマ | ユーザ権限

今回の内容

日頃はI.B.MUSEUM SaaSをご利用いただき、誠にありがとうございます。

かねてよりお伝えしております通り、今回のリニューアルはユーザーインターフェイスのアップデートとなります。インターフェイスと聞くとソフトウェアの画面デザイン、つまり各種ウィンドウやボタン類の配置などグラフィカルな「見た目」の変化をイメージするものですが、それだけではありません。そこには、操作時の作法や操作後の反応なども含まれます。つまり、インターフェイスのリニューアルとは、画面デザインを中心とした「使い勝手」そのものの改善ということになります。

現在、開発が進行中の新インターフェイスにも、画面デザインの変更由来、あるいは付随してより使いやすくなる部分が多く含まれます。あくまでインターフェイスの刷新ですので新機能の追加や大きな仕様変更はなく、それらはリニューアル後の更新時に予定しておりますが、画面刷新に伴い結果として使い勝手が大きく改善される機能が少なくありません。その大きなカギを握る要素のひとつが、今回ご紹介するユーザー権限です。

I.B.MUSEUM SaaSは、セキュリティの観点から利用権限を細かく設定できる機能を備えています。一方、新インターフェイスでは、画面が大きく刷新されることに伴ってさまざまな機能の使い勝手が向上することになります。

今回のリニューアルは登録情報の管理・活用のさらなる効率化を意図しておりますので、最終的により多くの方々システムを使いこなせる環境づくりを目指しております。前々号のVol. 11でご紹介した一括処理は、その好例です。基本的な機能はそのままに、仮登録までの作業は一般ユーザも行えるようになり、さらにはそれをストックできるようにすることで使い勝手が飛躍的にアップするのですが、これを実現する大きなポイントがまさに「権限」の見直しなのです。

I.B.MUSEUM SaaSリニューアル情報 EXPRESSIONS 発行予定

Vol.1	2022/1/31	リニューアル計画概要とログイン画面
Vol.2	2022/2/28	デザインコンセプトとホーム画面
Vol.3	2022/3/31	検索トップと検索結果一覧
Vol.4	2022/4/30	詳細画面の特徴
Vol.5	2022/5/31	データ登録方法とクリップリスト
Vol.6	2022/7/15	人物・名簿とメディア
Vol.7	2022/8/31	資料利用
Vol.8	2022/9/30	公開設定
Vol.9	2022/10/31	リニューアルQ&Aとここまでのまとめ (公開設定までを振り返り)
Vol.10	2022/11/30	分類・項目設定
Vol.11	2023/1/15	一括処理
Vol.12	2023/2/15	ユーザ管理
Vol.13	2023/3/15	ユーザ権限
Vol.14	2023/4/15	帳票設定
Vol.15	2023/5/15	移行方法と並行運用について
Vol.16	2023/6/15	総集編 (Vol.1からVol.13までを1冊に)

Now!

これまでのシステムは安全性を最重視しており、必要以外は権限を狭めておくという考え方を多用してきました。しかし、今回のリニューアルでは、一部、逆に広い範囲のユーザに開放する方向へとシフトしています。ユーザ権限に関する姿勢の見直しは、個人の仕事から館全体の業務フローまで、さまざまな場面で改善効果を期待できるのです。

そこで今回は、大小織り交ぜた「ユーザ権限」の恩恵を特集。よくご相談をいただくメンテナンスモードも権限の変更で劇的に変わる機能のひとつですので、ぜひご一読ください。

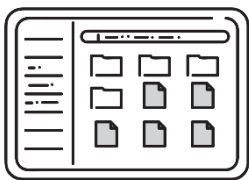
クリップリスト

権限の調整で、より「使える」機能に。

リニューアル情報EXPRESS Vol.5 @でお知らせいたしました通り、今回のリニューアルでは「個人用クリップリスト」の作成が可能になります。クリップリストは、展覧会の出品候補資料をピックアップしたり、修復が必要な資料をリストアップしたりする際に便利な機能ですが、今後はまだ作業途中の個人的なメモの段階でも気軽に一時保存しておくことができるようになります。作業が進み、リストとして仕上がってステイタスを「共有」に変更するまで、他のユーザは編集はもちろん閲覧も不可となりますので、プライバシーを守りながらアイデアの整理に没頭することができます。

また、現在のクリップリストは、その分類に対する更新権限を有するユーザだけが利用できます。たとえば「歴史分野は編集できるが民俗分野は閲覧のみ」という権限を持つユーザは、編集不可とされている民俗分野の資料が入ったクリップリストの内容を更新することはできません。これは、データとリストそれぞれの編集権限を統一するためなのですが、個人のメモ的なクリップリストが作成可能になり、より活発な活用が予想されることを受けて、リストの編集権限を併せて「その分野の閲覧権限を有するユーザ」にまで拡大することになりました。

これにより、歴史担当の学芸員が担当する展覧会に民俗分野の資料を展示したいと考えた際にも、民俗資料を含む検討用のクリップリストを作って構想を進めるという使い方が可能となります。



検索条件の保存・編集

閲覧専用ユーザにも使いやすく。

非常にご好評をいただいているクリップリストですが、その正体は検索結果の一覧を保存する機能です。一方、そのひとつ前の段階にあたる検索条件の保存も可能です。条件を入力した後、検索を実行する際に表示されている画面をそのまま保存できるのですが、クリップリストと同様にこちらも権限設定に関する方針を見直します。

現在は、閲覧のみが許可されているユーザでも検索条件を保存することができますが、これは「検索はデータを閲覧する一連の動作の一部である」と解しているためです。これに対して、保存されている検索条件の削除については、その分類の削除権限を持っていないと行えません。

今回のリニューアルでは「検索条件を削除してもデータそのものには影響がない」点を重視し、閲覧のみの権限のユーザでも削除を可能とすることにしました。これにより、クリップリストの権限ルールと統一されることとなります。

管理者権限

「システム設定」の一部を一般ユーザに開放。

現在のインターフェイスでは、メインメニューのページの下半分を「システム設定」の機能の入り口と見立てて、メンテナンスモード設定や分類・項目設定、入力コード設定やインターネット公開設定、一括登録関連、ユーザ管理、異体字・旧字/類義語管理といった多数のメニューを並べています。これらはすべて管理者ユーザのみが操作できる機能ですので、一般ユーザはボタンが表示されません。

システム設定に関連する機能の使用が管理者ユーザだけに限定されている理由は、主にふたつあります。まず、そのデータベース全体への影響が大きいこと。もうひとつは、利用頻度が低くて操作も分かりにくいものが多いため、一般ユーザ向きではないことです。しかし、今回のリニューアルではシステム管理面のインターフェイスと使い勝手が改善しますので、前述のふたつの理由のうち後者の「操作のわかりにくさ」は大幅に軽減されます。そこで、全体への影響度がそこまで大きくない機能については一般ユーザにも開放されるべきという考え方が導入されることになりました。

具体的には、入力コード設定や帳票設定、一括登録機能のうち仮登録、異体字・旧字/類義語管理は一般ユーザも使えるようになります。一方、分類・項目設定や一括登録の正規登録部分、ユーザ管理は引き続き管理者機能として残ります。

ただし、一般ユーザ全員にこれらの機能が一気に開放されるわけではありません。各館それぞれに、ユーザ管理機能を用いて個別に使用の可否を設定していくことになります。たとえば、データ登録を集中して行うユーザには「異体字・旧字/類義語管理の操作は可能だが帳票設定は不可」という権限を付与するなど、きめ細かな設定が可能となるわけです。

メンテナンスモード

「強制ログアウト」がなくなります。

現行のインターフェイスでは、システム設定メニューのうち、分類・項目設定と一括登録はメンテナンスモードに切り替えてから操作します。メンテナンスモードでは、一般ユーザは操作中であっても強制的にログアウトされるため、予定スケジュールの周知徹底や実施時の周囲への声掛けなどが必要になります。ところが、分館など離れた場所で使用していたり、ユーザが別のフロアにもいるような場合は声をかけにくく、登録作業中の一般ユーザがデータの保存前に突然ログアウトを強いられる事態も起きないとは言いきれません。実際、各館それぞれに対策を講じているとのこともお声も聞こえてきます。

そこで、今回のリニューアルでは上記の通り一部の管理者機能が一般ユーザに開放されることも踏まえ、メンテナンスモード実行時の強制ログアウトを撲滅します。

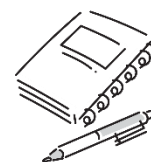
リニューアル後も管理者ユーザ向けとなる前述の機能のうち、分類・項目設定の作業については引き続きメンテナンスモードで行います。この時、他のユーザはログアウトするのではなく、追加・編集中のデータの保存はできないまでも、検索や閲覧はそのまま継続することが可能となります。また、管理者ユーザが作業を行っている間は、他のユーザの画面上に注意を促すメッセージを表示。次の図の通り目立つアラートで知らせますので、その時に作業中でも表示を見て「一時的にデータの保存ができなくなっている」ことにすぐに気づける環境を提供します。



メンテナンスモード中は、データの更新ができない旨をメッセージでお知らせします。

権限等変更早見表

主要な変更点は次の通りです。



	権限区分		メンテナンスモード	
	現行	リニューアル後	現行	リニューアル後
分類・項目設定	管理者	管理者	要	要（ただし一般ユーザ強制ログアウトはない）
入力コード設定	管理者	一般	不要	不要
帳票設定	管理者	一般	不要	不要
インターネット公開設定	管理者	一般	不要	不要
一括処理	テンプレート出力のみ一般、それ以外は管理者	一括登録の本登録は管理者、仮登録、テンプレート出力は一般	要	不要
ユーザ管理	管理者	管理者	不要	不要
異体字・旧字/類義語管理	管理者	一般	不要	不要

ここまでのまとめと次号のお知らせ

ここまでお読みいただき、誠にありがとうございました。

インターフェイスのリニューアルでは、さまざまな部分の使い勝手が改善します。今回は、利用権限の再整理で利便性が大幅に増す機能の一部をお伝えしましたが、ご不明な点はありませんでしょうか。

このほか、たとえば Vol.11 の紙面でご紹介した一括処理は、これまではすべて管理者ユーザ専用の機能でした。その中で、仮登録→本登録という流れのうち、仮登録については一般ユーザに開放することで、管理者ユーザが集中的に背負うご負担を緩和できることとなります。こうした基盤的な部分からクリップリストのような身近な機能まで、ユーザ権限の見直しはさまざまな快適化をもたらしますので、リニューアル後にはぜひご確認ください。

次号では、お待たせしております移行の実施時期とその方法についてのご説明を予定しております。リニューアル情報 EXPRESS Vol.9では、その時点で想定していた移行計画をお伝えしておりますが、それに対してお寄せいただいたご意見やご要望を反映しつつ、テスト環境やサポートの面も含めたより安全な移行のための見直しなども重ねながら、最終的な調整を行っております。

慎重に慎重を期した移行を目指しておりますので、その最新情報などをお届けできればと存じます。次回もどうぞよろしくお願いいたします。



- ※ 掲載スケジュールは、すべて発行時点での予定です。開発の状況により変更となることがございます。
- ※ 掲載のリニューアル画面は開発中のものです。